

狛江市環境広報紙

狛江市環境マスコット
えこまさん



ご意見・ご要望は...

発行元 狛江市環境部環境政策課 まで

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5

☎03-3430-1111 (代表)

mail:kankyokkr01@city.komae.lg.jp

こまEco通信 vol. 8

平成30年10月発行

「ごみの捨て方」
考える時代です!

エコパートナーな人!

インタビュー
第2弾

巻頭インタビュー「コマエカフェ」

飲食店で頭を悩ませるのが「ごみの処理」について!そこで、平成28年度にエコパートナーとなったコマエカフェさんの取組み内容がとてもエコで、特徴的だったためお話を伺いました!

今、行っている環境保全活動について教えてください。

うちのカフェでは、お米を玄米で仕入れて、毎日使う分を精米しています。

その時に出る米ぬかと、カフェで使ったコーヒー豆のかすで有機肥料を作っています。

その他に出た生ごみも生ごみ処理機で分解し肥料にして、自社農園で利用したり近隣の農家さんへ配布したりしています。

自家製の有機肥料で作った野菜はコマエカフェでも使用していますし、店頭でも販売しています。季節によって作る野菜の種類が変わるので、その違いも楽しんでいただきたいですね。



代表
小川 英明さん

石井 玲さん

店長
山田 優希さん

エコパートナーに申請しようと思ったきっかけを教えてください。

こまeco通信で環境表彰制度の募集を見て、賞をとりたいと思ったのがきっかけです。そして、まずはエコパートナーに登録して、取組みを広げていきたいと思いました。

取組みをはじめて周りからの反応はいかがですか?

お客様からは、有機肥料で作った野菜を「美味しい」と言ってもらえます。スタッフも、紙パックは洗って再利用するなど、積極的にリサイクルに取り組んでいます。

最後に今後の意気込みをお願いします。

地球に優しいエコな取組みで、みなさまに愛されるカフェを目指します!

編集者のひとこと

コマエカフェさんの環境保全に対する熱い取組みが伺えました。ごみの捨て方を考えるだけで私たちにも環境にも良いことばかりです。「少し手間だけど、やってみてよかった。」と言っていた、オーナー・スタッフさんの笑顔が印象的でした!

今号の内容

第一面 巻頭インタビュー エコパートナーな人 第2弾「コマエカフェ」

第二面 もったいない! みんなで減らそう「食品ロス!」

第三面 知っていましたか? 狛江市のごみ処理経費について/第17回使用済小型家電のイベント実験回収

第四・五面 おしえて♪ ecoな下水道 vol.03

第六面 アドプトを始めてみませんか? /野川美化清掃活動

第七面 狛江市の生きものたち~生物多様性基礎調査結果~

第八面 こまecoけいじばん・まちがいさがし・イベントカレンダー

こまEco通信 vol. 8